

授 業 概 要

科目名 医療的ケア I		授業の種類 講義・演習	授業担当者 丸山 保子（実務経験者）
授業回数 15回	時間数（単位数） 30時間（2単位）	配当学年・時期 1学年 後期	必修・選択 必修科目
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>在宅・施設で生活する高齢者や障害者が必要とする医療的ケアを医療職との連携のもとに安全かつ適正に実施する基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>社会福祉士及び介護福祉士法の改正と医行為、安全な療養生活、喀痰吸引、経管栄養、救急蘇生法、感染予防、健康状態の把握について学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>医療的ケアを安全かつ適正に実施するために必要な知識・技術を理解できる。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p><u>医療的ケア実施の基礎</u></p> <p>1 医療的ケアの基礎を学ぶ目的</p> <p>人間と社会</p> <p>2 医療的ケア・医行為とは</p> <p>保健医療制度とチーム医療</p> <p>3 医療制度・喀痰吸引等制度（社会福祉士及び介護福祉士法の改正）</p> <p>4 介護保険法、その他の制度</p> <p>安全な療養生活</p> <p>5 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施</p> <p>6 救急蘇生法</p> <p>7 リスクマネジメント ヒヤリハット、アクシデント報告</p> <p>清潔保持と感染予防</p> <p>8 感染予防（スタンダードプリコーション）</p> <p>9 介護職員の感染予防（手洗い、手指消毒、手袋やガウンの使用）</p> <p>10 療養環境の清潔、消毒法（消毒と滅菌）</p> <p>健康状態の把握</p> <p>11 こころとからだの健康</p> <p>12 健康状態を把握する（バイタルサインの測定）</p> <p>13 急変状態について</p> <p>14 まとめ</p> <p>15 試験</p>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 15 「医療的ケア」 中央法規出版</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>「喀痰吸引等研修実施要綱について」に準じて実施するため、5分の4以上の出席とする。 試験で60点以上の者に単位を認定する。</p>	

授 業 概 要

科目名 医療的ケアⅡ		授業の種類 講義・演習	授業担当者 丸山 保子（実務経験者）
授業回数 15回	時間数（単位数） 30時間（2単位）	配当学年・時期 2学年 前期	必修・選択 必修科目
<p>[授業の目的・ねらい] 在宅・施設で生活する高齢者や障害者が必要とする医療的ケアを医療職との連携のもとに安全かつ適正に実施する基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要] 喀痰吸引、経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう、基礎的な知識、実施手順を理解できる内容とする。</p> <p>[授業終了時の達成課題（到達目標）] 安全かつ適正に喀痰吸引及び経管栄養を実施するための基本的な知識、実施手順方法を理解できる。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 <u>高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 呼吸のしくみとはたらき 2 喀痰吸引の必要な状況及び喀痰吸引の方法と実施上の留意点 3 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 4 呼吸器系の感染と予防 5 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 6 急変・事故発生時の対応と連携 7 喀痰吸引の実施手順、記録と報告 <p><u>高齢者及び障害児・者の経管栄養概論</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 8 消化器系のしくみとはたらき 9 経管栄養が必要な状況及び経管栄養の方法と実施上の留意点 10 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応 11 経管栄養に関係する感染と予防 12 経管栄養に生じる危険、注入後の安全確認 13 急変・事故発生時の対応と連携 14 経管栄養の実施手順、記録と報告 15 試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 15 「医療的ケア」 中央法規出版</p>		<p>[単位認定の方法及び基準] 「喀痰吸引等実施要綱」に準じて実施するため、5分の4以上の出席とする。 試験で60点以上の者に単位を認定する。</p>	

授 業 概 要

科目名 医療的ケアⅢ		授業の種類 講義・演習	授業担当者 丸山 保子（実務経験者）
授業回数 15回	時間数（単位数） 30時間（2単位）	配当学年・時期 2学年 後期	必修・選択 必修科目
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>在宅・施設で生活する高齢者や障害者が必要とする医療的ケアを医療職との連携のもとに安全かつ適正に実施する基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>安全な喀痰吸引、経管栄養の実施のために、確実な手技を習得する内容とする。</p> <p>[授業終了時の達成課題（到達目標）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療的ケアを実施する際の手順、留意点を述べることができる。 2 安全・適切に喀痰吸引、経管栄養を実施することができる。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>口腔内吸引の実施手順</u> 2 <u>鼻腔内吸引の実施手順</u> 3 <u>気管カニューレ内部の吸引の実施手順</u> 4 口腔内吸引の実際 5 鼻腔内吸引の実際 6 気管カニューレ内部の吸引の実際 7 <u>経鼻経管栄養の実施手順</u> 8 <u>胃ろう（腸ろう）による経管栄養の実施手順</u> 9 経鼻経管栄養の実際 10 胃ろう（腸ろう）による経管栄養の実際 11 演習 12 <u>演習</u> 13 <u>演習</u> 14 <u>救急蘇生法</u> 15 試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 15 「医療的ケア」 中央法規出版</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>「喀痰吸引等実施要綱」に基づき実施するため、5分の4以上の出席とする。</p> <p>筆記試験で60点以上、かつ演習で5行為すべてに合格した者に単位を認定する。</p>	